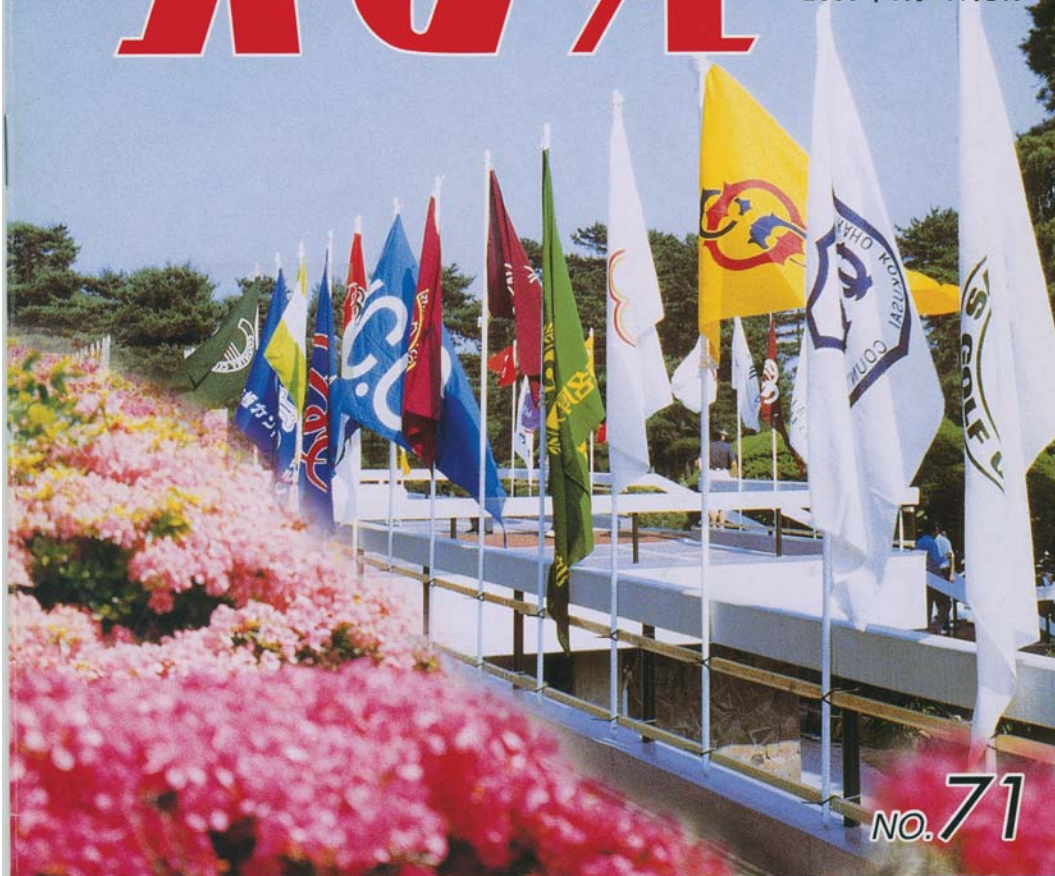


KGA

'00夏季号
2000年8月1日発行



目次

ゴルファーのためのマナー基礎講座(6) モラルはルールブックに載らない	1
平成12年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技	3
平成12年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技	6
平成12年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技	9

平成12年度 関東倶楽部対抗決勝競技	12
トピックス	20
分科委員会	22
月例競技成績表・お知らせ	24

表紙Photo 倶楽部対抗決勝・大利根カントリークラブ(撮影・片山晴美/KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟

⑥ ゴルファーのためのマナー基礎講座

モラルはルールブック に載らない

文・鷲巣 力(スポニチ編集委員)
カット・山縣和彦

街を歩くと、ガングロ、ヤマンパはまだ少数派だが、茶髪などはもう少数派とはいえない。若者、とりわけ女子高校生たちは、次から次へと流行を追いかける。流行に最大の生きがいを感じているかのように見える。

彼女らは、茶髪、ルーズソックスのいでたちで学校にも通う。かつて学校と街のあいだには境があり、違いがあった。だから街に出かけるいでたちと学校に通ういでたちは、おのずと違っていた。それは「学校の文化」と「街の文化」とは違うという「共通理解」が、世の中にあったからだ。ところが、この「共通理解」は崩れ、学校と街とのあいだに境界はなくなった。もはや校内でも、茶髪、ルーズソックス、超ミニスカートの珍しくない。ガングロやヤマンパ姿で授業に出る生徒も現れ始めているようだ。

◆◆ 昔の常識、今の常識 ◆◆

「常識」も時代とともに変化するものではあるが、すさまじい速さと激しさとで昔日の常識が崩れ去り、今日の常識がわが物顔に闊歩する。

昔の常識で生きて来た中高年にとって、今の常識は目を覆わんばかりの「惨状」と映る。これを目の当たりにすれば、ひるみもすればうろたえもする。もちろん、昔だって逸脱行動をとる若者はいた。だが、これほど多くこれほど激しくはなかった。自分の常識に反する行動には、だれしもいらだちを感じるから、家庭でも学校でも感情的に対応しやすい。

しかし、感情的に「茶髪は認めない。ルーズソックスは認め

ない。超ミニスカートは認めない」と言い立てても、かえって反発を買うのがオチだろう。

反発にはさまざまなある。先生が何をいおうと「シカト」、つまり無視する生徒もいる。また「茶髪がいけないって校則に書いてあるんですか」と意地悪く問う生徒もいると聞く。

茶髪を街でよく見かけるようになったのはここ十数年のことで、学校に進出したのはせいぜい10年足らずのことだろう。一方、校則は30年、50年の歴史をもつものもある。当然、校則は茶髪を予想していない。だから校則に茶髪禁止の項目があるはずがない。しかし、いつも「校則に従え」といって、生徒を管理する拠り所を校則にのみ求めている先生は、校則に書いてあるのかと聞かれると返答に窮することになる。

だが、こういうことは、中学生や高校生のことだけではない。大人の世界でもよく見かける。否、むしろ、大人の世界に見られるからこそ、若い人に再生産されるのだ。

ゴルフの世界だってそうだ。一例を挙げよう。夏になって、半ズボンでプレーすることが多くなる。そんなとき、まあ、由緒あり格式高い倶楽部

だと、ハイソックスをはいてプレーすることを「事実上のルール」として求める。もちろん、そんな堅苦しいことまで求めないという倶楽部もある。いずれにせよ、その倶楽部のルールにすぎなく、公式の『ルールブック』に定められているわけではない。ところが、ハイソックスをはくように求めると「そんなことが『ルールブック』に書かれているのか」と質すゴルファ



ーが必ずいるという。倶楽部のスタッフは対応に困る。

◆◆組織の大前提——倶楽部文化への愛着◆◆

スポーツも社会生活も「ルール」、すなわち法に従って営まれる。法なしではスポーツも社会生活も混乱をきわめ、成り立たない。しかし、スポーツや社会生活を成り立たせるのは法だけではない。法を越えた、あるいは法以前の「モラル」もまた重要である。だが、法は、ルールブックに記されるが、モラルはルールブックには載らない。

世には法を金科玉条のごとく尊重する「法至上主義」がある。これはかえってモラルを低下させる結果になる。しかも、日本では、法は嫌々ながらも守るべきものであり、法は法規に明記されたものだけだという意識が強い。明記されないモラルもまた守るべきものだという意識は弱い。

「校則にあるのか」と問う女子高校生や「ルールブックにあるのか」と質すゴルファー。それに応じる学校の先生たちやゴルフクラブのスタッフ、いずれもルールは「書いてあるもの」だと意識していることに変わりはない。書いてなければ守る必要はない、と彼らは考える。

もちろん、そうでなければ具合が悪いこともある。たとえば、刑罰のような場合。国家権力が法を行使するには、法に明記されない刑罰を課すことは認められない。そうでなければ、国家の恣意で、国家にとって都合の悪い人に、いくらかでも罪を着せることができることになるからである。

しかし、多くの場合は、すべてをあらかじめ明記しておくことは出来ない。校則はギャングロやヤマンバを予想していない。そんな予想外の事態、または言わずもがなの当たり前のことに対処する原則は何か。その組織が何を指すかという理念や目的だろう。それらをひっくり返して「文化」といったらよいだろうか。この文化にたいする「愛着」が育っているかどうかが大



事なことになる。

たとえば学校（ことに私学）とか倶楽部組織とかの場合、その学校や倶楽部の設立趣旨あるいは運営方針が「文化」を表現したものでしょう。これらに賛同し愛着を感じる者が入学または加入する。そもそも学校や倶楽部とはそういうものだ。その設立趣旨や運営方針に賛同できなく、愛着も感じなければ、入学または加入しないか、退学または脱退するしかないのだ。それが私的組織というものの大前提だろう。

◆◆出でよ「オレがルールブックだ」◆◆

プロ野球で判定がもめて「ルールブックを見ろ」といわれたある審判が、言下に反論して「オレがルールブックだ」といったことがあった。相当に「自信」と「自負」があったに違いない。いや、むしろ、それほど自信と自負がなければ、ルールは保持できないということなのだろう。

おそらく、この審判は野球に対する「愛着」を強くもっていたに違いない。強い愛着があるからこそ、ルールの本義を守り、野球という文化を守ろうと考えたのだろう。いつの時代も、こういう奇特定の人物によって、ルール、ひいては文化は保持されるものなのだ。

ルールや文化を守るに、黙っていても不可能である。その組織やその文化にたいする強い愛着をもって行動を起こさなければ、決して守れはしない。今日、多くの組織では、組織の繁栄拡大を目指すのか、組織の文化保持を目指すのか、という

岐れ道に立たされているように思う。拡大路線を取れば文化は諦めざるを得ず、文化路線を選べば拡大は捨てるを得ない。両立はなかなか難しい。

これはゴルフ界でも同じだろう。ゴルフ人口の拡大を目指すのか、ゴルフ文化の維持を掲げるのか。少なくとも「文化」を選ばなければ「オレがルールブックだ」というような、強烈な愛着が必要なのかもしれない。

平成12年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成12年5月25日(木)、26日(金)

●開催コース 大箱根カントリークラブ 6,410ヤード パー74



ゴルフ界で最も残酷な競技

文・山田和臣 (KGA広報委員)
写真・片山晴美 (KGA広報委員)

冒頭から女性の年齢にふれるのは心苦しいかぎりだが、今大会の出場者のそれを見てみると、

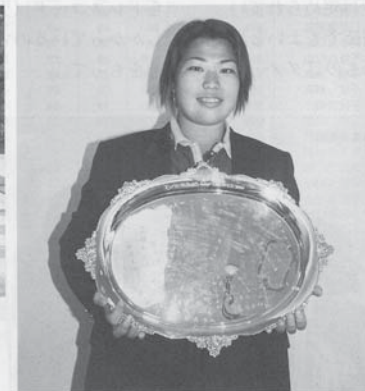
最年長 66歳 最年少 14歳である。

平均年齢はチェックしていないが、いずれにしろ、祖母と孫が同じ条件で競い合うのだから、まさしく世にも残酷なゲームと言わざるを得ない。

ともあれ、今年度の関東女子の女王の座を争う競技である。若い(?)も若きも、一球一打にも精魂をこめての戦いであった。



井上さんの豪快なショット



今年の女王は井上景湖さん

留守番の主人に感謝しなくちゃ

会場の大箱根カントリークラブは、標高680m、平野部との温度差は4～6度、新緑のまぶしいコースである。距離もあり、新井競技委員長の言によれば「女性にはタフなコースで、どうセッティングしてと6,400ヤードを切ることは難しかった。したがってパー74」とのこと。そのため、ロングホールをアウト3、イン3の6本としたが、その中で9番、15番、18番は500ヤードをこえ、大半の選手は3オンに苦勞していた。

そうなると当然、若手に有利になることは否めない。事実上位入賞者5名は、全員学生であり、10位までの選手の顔ぶれも社会人は4名であった。

この点、素直に不満を述べるベテランもいたが、某競技委員は「たまたま今年は長いのであって、昨年の平川カントリーは短かったはず。コース選定は、その辺のことも考慮している。」との回答であった。

またある選手は、「私は当初から入賞なんて考えてもいない。こんないい天気の下で、すばらしく整備されたコースで2日間プレーできるだけで大満足。スコアは二の次、留守番の主人に感謝しなくちゃ。」

とのこと。その言や良し、アマチュアはこうでなくちゃ、と思った次第である。

ダメなものはダメ

プレーのこまかい技術論は私の任ではない。

ここでは、昨今問題となっている“若者”のマナー、服装について。といて、私が一言言っているわけでもない、参加者の中の顔見知り（となれば同年輩の人が多くなる）に率直な意見を述べてもらった。

「短すぎるパンツ、ノースリーブ、ブレザー忘れ、スニーカーまがいの靴……私の年代にはとっても気になる。」

「みんないい娘なのよ。ただ“街中の常識”と“ゴルフ場の常識”とは自ずと異なることをわきまえていない。憎まれても誰れかがきちんと教えてあげないといけないわ」

「ルールブックにはドレスコードは定められていない。だからと言って、どんな服装でもよいとは言えない。だからここは、ダメなものはダメ……」



街角のスナックといってもおかしくない



ジュニア選手の若々しいショット

土井たか子さんに見習うべきよ。」

大方の意見は以上のようなものであった。KGAの関係委員会（月例、ジュニア）でも話題になっている。たしかに難しい問題ではあるが、放置するわけにもいかない。ゆるやかなものでもよいからドレスコード（男性用も）を策定する時期にさしかかっているのではなからうか。温故知新の精神をもって。



表彰式は全員出席してなごやかなムード



尾関副理事長より特別表彰（20回出場）を受ける猪股美恵子さん（左）と正木英子さん

平成12年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー138名／出場者135名／欠場者3名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	井上 貴湖	埼玉 国 際	71	75	146
2	下村 由美	関東 女 子	77	72	149
3	桜井 裕華	関東ジュニア	76	76	152
4	小林 英恵	玉 造	76	79	155
4	河中 香織	専 修 大	76	79	155
6	南雲 真理	岡 部 チ サ ン	76	80	156
7	三木恵美子	富 士 板	77	80	157
7	浅川 弘子	矢 野	78	79	157
7	大木 美佳	児玉スプリングス	74	83	157
10	菅原亜矢子	京	84	74	158
10	渡辺 恵子	高 根	79	79	158
12	中島 佳乃	スカイウェイ	79	80	159
12	高橋香雅美	小田原・松田	76	83	159
14	金 沙織	都 賀	81	79	160
14	飯島 西	関東 女 子	81	79	160
14	田村 潤子	十 日 町	80	80	160
14	上原 紫	藤 岡	83	77	160
14	土井 綾子	日 本 大	81	79	160
19	鈴木ゆり子	富士 殿 場	81	80	161
19	山本 真美	新 千 葉	81	80	161
21	塩田美樹子	関東 女 子	81	81	162
21	鈴木 章古	東京湾スプリングス	81	81	162
23	斉藤 美香	東北 福 祉 大	78	85	163
24	栗原美佐枝	小田原・松田	84	80	164
24	原 かおり	日 本 大	82	82	164
24	鈴木 麻美	関東ジュニア	81	83	164
24	石津久美子	セベ・バレストロス	82	82	164
24	中島佳奈子	甲 斐 駒	82	82	164
29	五十嵐洋子	藤 岡	83	82	165
29	長瀬 万寿	東 京	81	84	165
29	関口九美子	グレンビークマナー	81	84	165
32	稲垣 美穂	中央 学 院 大	87	79	166
32	加藤 勝栄	相 模 原	85	81	166
32	岩下沙耶果	法 政 大	83	83	166
32	落合 麻紀	小田原・松田	83	83	166
32	加藤 理刈	伊 豆 大 仁	82	84	166
32	佐々木祥子	妙 高	79	87	166
38	野尻ゆかり	セ ゴ ビ ア	87	80	167
38	嶋田万里子	長 野 県	81	86	167
38	塚本 令子	東 千 葉	82	85	167
38	原田 町子	習 志 野	83	84	167
38	大木 美幸	鹿 沼 7 2	82	85	167
38	市川 慶子	江 戸 崎	77	90	167
44	板橋 博美	桐 生	86	82	168
44	牛込 成美	下 野	84	84	168
44	孫 真美	千葉 廣 済 堂	84	84	168
44	嶋田マユミ	豊 月 ・ 佐 野	89	79	168
44	上野 千鶴	ゴールデン・レイクス	86	82	168
44	露木 直子	東 名 厚 木	79	89	168
44	三塚 俊子	関東ジュニア	84	84	168
51	江澤三智子	習 志 野	87	82	169
51	尾関 久江	武 蔵	83	86	169
51	川味 千枝	御 殿 場	84	85	169
51	村田トシ子	鎌 倉	79	90	169
55	吉野 純子	東 名 厚 木	86	84	170
55	大田 雅子	千 葉 国 際	87	83	170
55	秋谷美智子	筑 波 学 園	87	83	170
55	塚原いずみ	板 橋	84	86	170
59	島崎 吉枝	葉 山 国 際	87	84	171
59	福川とし子	パ ー ク レ イ	87	84	171
59	矢島智都子	富 士 板	83	88	171
59	米倉 道代	湘 南	85	86	171
59	藤島 啓子	八 王 子	86	85	171
59	浅川 洋子	高 坂	81	90	171
65	荒嶋 桂子	御 荷 鈴	88	84	172
65	田上 五海	関東ジュニア	88	84	172
65	西田美千子	東 千 葉	88	84	172
65	利 和子	日 高	85	87	172

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
65	上条 淑子	松 本	84	88	172
65	関根奈穂美	セ ン ト ラ ル	86	86	172
65	増田 京子	筑 波	82	90	172
65	横須賀直美	セブンレイクス	89	84	173
72	原 慈子	グレンビークマナー	88	85	173
72	中村 静江	東 千 葉	90	83	173
72	藤本 朋枝	専 修 大	86	87	173
72	猪股美恵子	上 総 富 士	84	89	173
77	福田 葉子	セベ・バレストロス	88	86	174
77	田谷 千枝	チェックメイト	88	86	174
77	杉山 加奈	関東ジュニア	87	87	174
77	岩田 淳子	横 浜	86	88	174
77	青木 英子	千 葉	80	94	174
82	田子真里子	大 平 台	88	87	175
82	川口文郁恵	秦 野	81	84	175
82	小田原理恵	小田原・松田	88	87	175
82	橋 達子	船 橋	86	89	175
82	望月 和	大 平 台	87	88	175
82	川島みち子	新 千 葉	87	88	175
82	松野 信子	東 松 山	88	87	175
82	市川 稚子	中 央 学 院 大	83	92	175
90	小坂 順子	千 葉	90	86	176
90	菊地恵美子	宇 都 宮	86	90	176
90	近藤 信子	富 士 箱 根	90	86	176
93	伊東 法子	豊 月 ・ 佐 野	89	88	177
93	田中千枝子	日 高	89	88	177
93	宮本 智恵	川 中 崎	91	86	177
93	大谷伊利子	大谷伊利子	90	87	177
93	林 ツヤ子	富 士 箱 根	89	88	177
93	長瀬 光子	水 戸	89	88	177
93	宝田 朝子	豊 月 ・ 佐 野	88	89	177
93	藤井 京子	太 田 双 葉	89	88	177
93	小島美智子	新 千 葉	85	92	177
102	谷中富美子	ザ ・ レイクス	92	86	178
102	前田富美子	太 田 双 葉	90	88	178
102	斉藤 好美	伊豆にらやま	89	89	178
102	山崎 睦子	豊 月 ・ 佐 野	85	93	178
102	森 美代	船 橋	89	89	178
102	飯塚千恵子	白 水	88	90	178
102	橋詰かおり	ロイヤルメドウ	90	88	178
109	本田美佐子	御 殿 場	91	88	179
110	伊藤 陽子	鹿 沼	90	89	180
110	人見 洋子	鎌 倉	95	85	180
110	正木 英子	立 川 国 際	89	91	180
113	大村達子	リ バ ー 富 士	91	90	181
113	鈴木ミヨシ	鳥 山 城	90	91	181
113	近江 初江	小田原・松田	88	93	181
113	五十嵐このみ	サニーフィールド	91	90	181
113	石井 恵子	平 塚 富 士 見	89	92	181
118	萩原美江	太 田 双 葉	90	92	182
118	小口三代	豊 月 ・ 佐 野	91	91	182
118	山口八重子	姉 崎	86	96	182
118	高松 恵子	東 京 国 際	88	94	182
122	高橋 克子	東 松 山	94	89	183
122	小路知加子	小田原・日触御場	91	92	183
122	藤田 俊江	龍 崎	93	90	183
125	野瀬菜穂子	高 根	93	91	184
126	青木こずえ	グランステーション	92	93	185
126	陳 公美	武 蔵 野	91	94	185
128	小林 道子	白 水	90	97	187
129	金杉容理子	鳥 山 城	97	91	188
130	池田摩耶子	沼 津 国 際	96	93	189
130	安田このみ	関東ジュニア	89	100	189
132	天池 好恵	豊 月 ・ 佐 野	92	98	190
133	千葉 稚子	ザ ・ ウィングス	93	100	193
	市原けい子	千 葉 国 際			(失格)
	橋本 栄子	船 橋			(棄権)

特別表彰

（10回出場表彰） 高橋 克子（東 松 山）

（20回出場表彰） 猪股美恵子（上総富士）／正木 英子（立川国際）

平成12年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成12年5月31日(水)

●開催コース 霞ヶ関カンツリー倶楽部・西コース 6,299ヤード パー73

ますます盛ん、 グランドシニア



文・吉川英明 (KGA広報委員) 写真・石川博英 (KGA広報委員)

時折小雨がばらついたが、気温は22度で風もなく、ゴルフにはますますの天候だった。

最長老の83歳の山口栄寿氏(唐沢)以下80歳以上の3人を交えた123選手のプレーを見てますます感じるのは、どの選手も体がすごく若いということだった。

さすがに193人の参加する予選を通過してきた選手たちである。一番ティーでスタート

を見てみると、とてもグランドシニアの試合とは思えない。ドライバーの飛距離がすごい。並みの40代50代のゴルフでは太刀打ちできない。

道具がよくなったからな、という人もいるだろう。たしかに、最近のクラブやボールは、一昔前に比べれば間違いに飛ぶ。

だが、とても70歳以上とは思えないと感じるのは飛距離ばかりではない。その動作なのだ。

ティーアップする、素振りをする、構える、打つ、歩き出す……その一挙手一投足が若いのである。見ていて、日本人のスポーツ年齢が確実に伸びているのを実感する。筆者のようなグランドシ



岡野幸男さん2度目の栄冠



岡野さんのティーショット 味のあ
るフォーム

ニア予備軍としては頼もしい限りの光景である。

霞ヶ関西コース、この試合に使ったティーで6,299ヤード、パー73、距離は決して長くない。だが、深いバンカーでガードされたグリーンにパーオンするには、正確なアイアンショットが必要で、そのためには出来るだけ短いアイアンでセカンドショットを打ちたい。つまり、ドライバーの飛距離が欲しいのだ。

一昔前のグランドシニアだったら、その点で結構もてあましたかも知れないこのコースも、今大会上位の選手たちともなると、楽々と攻略してしまう。

関東グランドシニア選手権



20回出場の福田国三さん(左)と山口栄寿さん



10回出場の特別表彰を受けた皆さん 年輪と風格がにじみ出る栄寿さん

● 岡野幸男さん2度目の優勝

優勝した岡野幸男選手(日高)のスコアは3オーバーの76、日本グランドシニア選手権の出場資格が得られる18位23人は81ストロークでカットというハイレベルだった。

岡野選手は、川添勇選手(八王子)とタイだったが、小雨の中のプレーオフは一番で決着がついた。

グランドシニアは94年に次いで2度目。シニアにも86年に一度勝っている。

しかも、この日の76はエイジシュートだという。早速話を聞いてみた。

——優勝おめでとうございます。エイジシュートは何回目ですか？

——クラブの月例まで入れれば、試合では7回目ですかな。

——はあ……初めてのエイジシュートはおいくつの時ですか？

——71の時でした。

——71のエイジシュートというのは、なかなか出来ませんよね。76とか7からっていう人が多いでしょう。岡野さんも今後ますます頑張って、優勝やエイジシュートを増やしてください。

——ありがとうございます。まあ、エイジシュートはこの間の日曜日もやったし、あまり珍しくないんです。このごろゴルフをやれば、エイジシュートなんでね……わっはっはっはっ。

だという。何とも恐れ入った御仁である。しかも、この岡野氏、去年の5月トラックに追突されて大怪我をし、一時はゴルフに復帰できるかどうかかも危

ぶまれたほどだったというのである。

シニア、グランドシニアには、毎年一般アマで活躍している新顔が入ってくるわけだが、岡野氏のようなベテランが頑張っていると、そうした新旧の対決も年毎の楽しみとなっている。



見事なダンディズムぶり

優勝、エイジシュートの岡野氏に話が集中してしまったが、今大会10回出場で10人の選手、また20回出場では、前出の山口栄寿選手と82歳の福田国三選手のお二人が表彰された。

関東グランドシニア選手権……老いて益々盛んというが、老いの翳などどこにも見えない。

ティーグラウンドで、フェアウェイで、はたまたバンカーで、澁刺としたプレーに見ている方が励まされること頻りだった。



表彰式、パーティーは同窓会ムード

平成12年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー129名/出場者126名/欠場3名

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	岡野 幸男	日 高	37	39	76
2	川添 勇	八 王	39	37	76
3	長野 和郎	鎌 倉	42	35	77
3	羽川 米豊	鹿 沢	38	39	77
5	亀田 秀夫	鹿 高	41	37	78
5	大曾根謙次	千 葉	39	39	78
5	坂本 芳郎	八 王	39	39	78
5	大月 一司	美 里	38	40	78
5	西田幾久彦	霞 ヶ 間	37	41	78
10	永川 義雄	土 浦	40	39	79
10	伊藤 辰男	小田原湯本	39	40	79
12	関井善久雄	南 摩 城	41	39	80
12	中村茂八郎	東 京	41	39	80
12	吉沢 友七	東京よみうり	40	40	80
12	宮坂 昭治	本 厚 木	40	40	80
12	重内 宏敏	立 川 国 際	39	41	80
12	岩井 二郎	霞 ヶ 間	38	42	80
16	吉村 金男	セントラル	43	38	81
18	山田真幸志	鷹 之 台	41	40	81
18	矢嶋 正一	東 松 山	41	40	81
18	荒井 照夫	中 京	40	41	81
18	小川 博道	多 摩 山	39	42	81
18	星野 禮夫	嵐 井	39	42	81
18	樋口 俊二	藤 ヶ 谷	39	42	81
18	吉田 光守	山 崎	39	42	81
18	安田 正行	東 京	38	43	81
27	山本嘉兵衛	山 崎	41	41	82
27	武田 博	大 相 模	40	42	82
27	溝口 宏造	入 江	40	42	82
27	水越 要	日 高	40	42	82
27	王木 源吉	桜 井	39	43	82
27	森田光一郎	浦 和	38	44	82
33	今井 昭一	中 津 川	43	40	83
33	川尻 海治	橋 本	43	40	83
33	山口 梅吉	横 濱	42	41	83
33	島本 智男	武 蔵 野	42	41	83
33	菅野 茂宏	武 蔵 野	42	41	83
33	大塚 義雄	南 摩 城	41	42	83
33	秋田 一男	鹿 沢	41	42	83
33	小宮山頼彦	大 相 模	40	43	83
33	石原 秀	山 崎	40	43	83
33	菊山 欣有	船 橋	40	43	83
33	三輪雄次郎	霞 ヶ 間	40	43	83
33	石井 信光	平塚富士見	39	44	83
33	小沢 貞夫	富 士 宮	38	45	83
46	鈴木 得自	大 厚 木	44	40	84
46	杉山沖四郎	武 蔵 野	44	40	84
46	福田 富男	立 川 国 際	43	41	84
46	紅霞 昭造	筑 波	42	42	84
46	佐藤 博	龍 ヶ 崎	42	42	84
46	池永 敏雄	利 根	41	43	84
46	大倉 孝斗	我 孫 子	41	43	84
46	水谷 敏	桜 井	40	44	84
46	久我光三郎	塩 田	40	44	84
46	土屋 健基	杉 ノ 高	40	44	84
46	品田仁三郎	杉 ノ 高	44	41	85
56	石橋 義夫	東 京	44	41	85
56	市来 達則	千葉国 際	42	43	85
56	牛久 忠彦	狭 山 山	42	43	85
56	古川 正男	栃 木	42	43	85
56	安藤 龍男	京 葉	42	43	85
56	深澤 源一	廣済堂埼玉	41	44	85
56	小佐野孝治	府 中	41	44	85
56	西浦 勝己	伊 豆 下 田	40	45	85
56	茅野 実平	諏 訪 湖	40	45	85

予選メダリスト

第1ブロック	中村茂八郎 (東 京)	78ストローク
第2ブロック	川尻 海治 (橋 本)	*
第3ブロック	品田仁三郎 (杉ノ郷)	77ストローク

特別表彰 (関東シニア(決勝)・関東ミッドシニア・関東グランドシニア出場)

(20回出場表彰)	福田 國三 (浜松シーサイド)	山口 栄寿 (唐 沢) ※最年長83歳	
(10回出場表彰)	今井 昭一 (中 津 川)	亀田 秀夫 (日 高)	大月 一司 (美 里)
	牛久 忠彦 (狭 山)	水谷 敏 (桜 井)	市川金次郎 (美 里)
	松井 元 (常 盤)	重内 宏敏 (立川国際)	佐藤 博 (龍 ヶ 崎)
	松井 一彦 (立川国際)		

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
56	谷間 芳明	真 名	40	45	85
67	石川 佳夫	美 里	44	42	86
67	市川金次郎	美 里	44	42	86
67	臼井 則吉	我 孫 子	43	43	86
67	岸 一	千 葉	43	43	86
67	吉村 忠之	千 葉	43	43	86
67	細井秀次郎	鷹 之 台	42	44	86
67	倉田 金造	藤 ヶ 谷	42	44	86
67	高橋 辰雄	美 里	40	46	86
67	山崎 武雄	多 摩 山	40	46	86
67	木村 良雄	我 孫 子	39	47	86
77	北田 潤	取手国 際	46	41	87
77	浜村 浩安	宇 都 宮	45	42	87
77	亀井 利男	本 厚 木	44	43	87
77	柳下 光治	嵐 井	44	43	87
77	杉坂 智男	桜 井	44	43	87
77	荻原 昭造	藤 ヶ 谷	43	44	87
77	花ヶ崎 尚	藤 ヶ 谷	43	44	87
77	式田 香樹	船 橋	43	44	87
77	山内 茂樹	大 利 根	43	44	87
77	都 厚三	東京カントリー	42	45	87
77	久保田一	藤 井	42	45	87
77	水巻 外吉	筑 波	42	45	87
77	田中 満司	日 高	42	45	87
77	北原 良三	日 高	42	45	87
92	大野 秀夫	京 葉	41	46	87
92	坂田 保雄	藤 ヶ 谷	48	40	88
92	古川 修造	相 模 原	44	44	88
92	大矢 得光	相 模 原	44	44	88
92	左野 正信	津 久 井 湖	43	45	88
92	大野 正信	江 戸 川	42	46	88
98	坂井 元	武 蔵 野	41	47	88
98	石井 武司	甘 武 蔵	45	44	89
98	佐藤 一雄	武 蔵 野	45	44	89
98	島田 三郎	高 麗 川	44	45	89
98	細川 力	高 麗 川	44	45	89
98	長谷川謙弥	愛 武 蔵	43	46	89
98	安富 繁二	武 蔵 野	41	48	89
106	山内 照清	武 蔵 野	45	45	90
106	都築 吉久	武 蔵 野	45	45	90
106	土屋 正人	相 模 原	45	45	90
106	坂入 弘一	入 間 山	45	45	90
106	関 謙夫	東 京 都 宮	44	46	90
111	青柳 俊男	東 京 都 宮	44	47	91
111	梅守 一徳	龍 ヶ 崎	44	47	91
111	松井 一彦	立 川 国 際	47	45	92
113	高田 吉夫	立 川 国 際	46	46	92
115	山口 栄寿	唐 沢	47	46	93
115	菊川 明士	東 京 都 宮	46	47	93
115	本吉 敏男	東 京 都 宮	44	49	93
118	櫻村 三夫	大 相 模	47	47	94
118	南 淳雄	霞 ヶ 間	47	47	94
120	金井 安次	東 京 都 宮	48	47	95
121	木内 昭風	東 京 都 宮	49	47	96
122	佐山 梅雄	新 千 葉	47	50	97
122	岩崎 徳雄	日 高	46	51	97
124	根本 致知	水 戸	52	46	98
125	宮元 照夫	鬼 怒 川	52	47	99
	下條 茂	日 高			(欠場)
	中井 文治	東 京 都 宮			(欠場)
	宮川 昭二	霞 ヶ 間			(欠場)
	福田 國三	浜松シーサイド			(棄権)

平成12年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成12年6月5日(月)～8日(木)

●開催コース 狭山ゴルフ・クラブ(東・西コース) 6,909ヤード パー72

学生江原、社会人石井をプレーオフで破る

——7年連続、栄冠は学生選手の手に——

文・塩田 正 (KGA広報委員) 写真・片山晴美/舟橋一芳 (KGA広報委員)

平成12年度関東アマチュア選手権は、6月5日から4日間、狭山ゴルフ・クラブ(東・西コース=埼玉県)で行なわれたが、江原清浩(ユアアイ=日体大3年)が、通算4オーバーで並んだ石井保行(清川)とプレーオフの末、これを破り、初優勝を飾った。これで学生の優勝は7年連続となった。

17、18番で崩れた江原

競技は初日から3日目まで和田雅英(東京五丁目)がトップを走った。2位を追走したのは日体大の新鋭江原清浩で、最終日スタートの時点では、和田(雅)の3アンダーに3ストローク離されていた。

4日目の朝、ファンのあいだから、これで片山晋呉(94年)以来、昨年末で続いた学生の王座が「社会人にとって代わられるのではないか」という囁きももれた。

しかし「追う者の強味」という図式は、この試合の最終日に現実のものとなった。3ストロークリードでスタートした和田(雅)が、初日から3日間ともバーディで上がった1番ホールでボギーとつまづいてしまったのである。あれほど正確だった和田(雅)のショットが乱れ、ラブを渡り歩いての結果である。

その後も和田(雅)は、4番、6番、8番でボギーを連発し、前半の9ホールを終わった時点で、3バーディ、1ボギーと猛追撃を見せた江原に逆に3ストロークのリードを許してしまった。

午後、コースには強風が吹き荒れたが、江原は10、13番をボギーにしたものの、伸びやかに振るドライバーと絶妙なタッチを見せるショート・アプローチで和田(雅)の追撃を許さず、優勝杯は、朝の予想とは違って学生の手に戻る算が強くくなった。

ところが江原は17番、18番で突然崩れた。17番ではフェアウェー・バンカー、グリーン・バンカーに相次いで入れ、オーバーしたバンカー・ショットのあとのアプローチも決まらずダブル・ボギー。続く18番もティー・ショットを右バンカーに入れ、第2打を刻んだあとの第3打を難かしいグリーンの左へはずし、4打をオーバーさせ、つぎのシ

ョットも寄らずに、ここでもダブル・ボギーとし、最悪の事態を招いてしまった。17番では「まだ貯金がある」と余裕を見せていた江原だが、この18番のダブル・ボギーには、さすがに強心臓のこの若者も顔色が変わった。「きょうは緊張感を楽しみながら」スタートしたはずなのに、やはり、栄冠を目の前にしてのプレッシャーに玩ばされてしま



今年のチャンピオンは童顔の江原清浩君

ったのか。ギャラリーの一人は、「伸び伸びしたゴルフを見せていたが、詰めの場面で連続ダボというのはいけません。これからは心理面の充実が課題になりそう」と彼への不安をのぞかせる。

社会人の活躍で学生が奮起

こうして江原の乱れによって、また社会人に注目が集まったが「眼前の敵」和田（雅）はインでも4ボギーを叩き、連続のミスの江原に1打足りず、優勝には手が届かなかった。結局、江原の初優勝かと思われたが、ここに伏兵が現われた。一つ前の組でプレーしていた石井保行（清川）がアウトを37、強風のインを33という見事なスコアをマーク、292、江原に並んでしまったのである。

プレーオフは1番ホールで行なわれた。「大学の3年になってゴルフが大人っぽくなった」と語る江原のプレーオフの第2打（3番アイアン）は彼の言葉を裏付けるように「狙った通り」ピンから30ヤード地点の花道を促えた。

この大会で江原のショートのアプローチは冴えに冴えていたが、この勝負を決める第3打もピン横1メートルに寄せ、3オン・2パットの石井を寄せつけず、見事なバーディであっけなくケリをつけてしまった。

今回もまた伝統（？）を守って学生チャンピオンの誕生である。しかし、ことしは例年になく社会人の活躍が目立った年でもある。前記和田（雅）が初日から3日間トップの座を譲らなかったり、石井が追い上げて江原にプレーオフを挑むなど、ベスト10に社会人が6名も顔を揃えているのがそれを如実に物語っている。

この点について、自身も7位タイと気を吐いたベテラン阪田哲男（袖ヶ浦）は、「僕の持論だが、学生の強いのはあたりまえです。練習量も違うし、レベルも上がってきています。そして学生に強いのがいるから社会人も奮起するんです。学生が強くなければ日本のゴルフの進歩はありません」と学生が毎年チャンピオンの座を占めるのは喜ばしいことだという。しかし、とはいっても社会人も学生の強さをハナから認めているわけではない。

阪田は「僕たち社会人は学生たちにプレッシャーをかけて、絶えず刺激を与える立場にいるといえるんじゃないでしょうか。学生陣がだらしなかったら社会人が代わってチャンピオンの座を奪うくらいの気持はだれもがもっていると思いますよ」と隙あらば学生に一泡ふかしてやると虎視眈々と好機を狙っているというのである。

たしかに練習量などから見ても学生有利だが、やはりベテラン・アマの神戸誠（太田双葉）はこんな見方をする。

「学生は卒業するとほとんどプロへ行っちゃいますからね。もし、昔のように学生のチャンピオンが、アマとして残ってやってくれば、そうそう学生の後塵を拝してばかりはいないと思いますよ」と、学生のほとんどがプロ志向であることが、社会人が学生に一步譲るもたになっていると強調する。

いずれにしても関東オープンが姿を消したいま、関東アマチュア選手権は、社会人、学生を問わず、選手たちの大きな目標になっていることはたしかである。今後は阪田がいうように「社会人が学生にプレッシャー」をかけたり、あるいは逆に「学生が社会人の奮起を促す」ような関係が強まっていくのではないかな。

学生にプレッシャーをかけるといえば、こんな異色の選手も社会人の一員として活躍した。西本聖（鳳琳）がその人である。ゴルフ界ではまだあまり知られていないが、かつてプロ野球の読売ジャイアンツの投手として鳴らした選手である。

「僕の場合、野球の解説や仕事の合間に練習するしかないの、なかなか大変なんです、それでも今回2日目までカットされずに4日間できたことに大きな喜びと誇りを感じています。3日目に84叩いて上位へは行けませんが、来年は日本アマ選手権へ行けるように頑張ります」



健闘した西本聖さん（元巨人軍投手）

と「野球の現役からトップ・アマ」として活躍できた喜びをこんなふうに話す。関東アマチュア選手権は、これからもこうした異色選手を混じえながら学生対社会人の「対決姿勢」をよりいっそう強めていくに違いない。

服装・マナーへの注文

「朝、クラブ・ハウスの玄関をはいるときに上着なしで、しかもろくに挨拶も、ない人がいます」

大会のある関係者はこういって嘆くが、とにかく関東とか日本とかの名前が冠せられる大会に出場する選手は、いわば一般のアマチュアゴルファーの模範的な存在があるということとはわかりき

たことで、服装や言動についてもつねに注意を払っていただかなければならない。

福田彰理事長（関東ゴルフ連盟）は、表彰式の挨拶の中で「関東オープンがなくなったいま、この関東アマを立派な形で継いでいきたい。そのためにはトップ・アマとしてのプライドを身に付けていただきたい。とくに態度、服装などに気をつけて、ゴルファーとしての真の姿をぜひ継続していただきたいと思います」

と、とかルーズになりがちなマナーや服装について警鐘を打ち鳴らしている。「強いプレーヤーであると同時によきゴルファーであれ」という永遠のゴルファー像は時代が変わっても変わるものではない。

平成12年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

エントリー数156名／出場者数151名／欠場者5名

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
1	江原 清浩	ユー・アイ	72	73	71	76	292
2	石井 保行	清 川	75	75	72	70	292
3	和田 雅夫	東京五市	69	73	71	80	293
4	川根 隆史	伊香保国際	76	73	74	71	294
5	清田太一郎	サイプレス	71	77	76	70	294
6	和田 博	東京五市	74	74	74	72	294
7	徳永 雅洋	ザ・レイクス	71	80	73	73	297
8	阪田 哲男	袖ヶ浦	74	74	75	74	297
9	宮本 清	小 川	72	81	73	72	298
10	坂本 聡	関東ジュニア	78	74	75	72	299
11	石井 幹	千葉スプリングス	74	74	77	74	299
12	高田 美春	千葉電大	79	75	73	73	300
13	神戸 誠	太田 双葉	74	77	72	77	300
14	桜井 秀剛	ニッソー	75	79	68	78	300
15	沢田 信弘	東京五市	78	75	73	75	301
16	竹原 洋行	東 名	78	76	73	74	301
17	金子 光規	レインボー	70	76	75	80	301
18	佐藤 良成	法 政 大	72	76	75	79	302
19	市原 弘大	関東ジュニア	75	74	75	78	302
20	福井賢太郎	専 修 大	72	73	83	75	303
21	吹野 耕一	都 賀	73	78	75	77	303
22	加部 剛男	東 名	76	75	75	77	303
23	藤方 修三	霞 台	76	78	71	78	303
24	山田 卓平	日 本 大	76	77	80	71	304
25	広井 智一	廣済堂埼玉	76	73	77	78	304
26	白 源正	ヨネックス	72	77	80	75	304
27	松方 英徳	専 修 大	81	74	75	75	305
28	日暮 俊明	扶 桑	79	75	73	78	305
29	河瀬 賢史	大熱海国際	77	74	74	80	305
30	横田 憲人	青 梅	76	75	75	79	305
31	八城 修治	関東学院大	72	75	81	77	305
32	亀井 隆	唐 沢	77	79	77	73	306
33	阪田 大	専月・佐野	75	81	71	79	306
34	中島 廣行	伊豆にやま	76	76	75	79	306

予選競技メダリスト選手	加藤 昌弘（青 梅）	72ストローク
第1ブロック（桜ヶ丘）	横山 佳和（東京よりり）	72
	太田 再勇（大 相 模）	72
第2ブロック（関部サン・東）	小島 亘（川 越）	73
第3ブロック（大 日 向）	清田太一郎（サイプレス）	66
第4ブロック（大プリンス・北）	上島 英信（ニッソー）	72
第5ブロック（龍 山）	瀬戸 信昭（廣 之 台）	72
第6ブロック（沼 津）	古屋 浩（東名厚木）	72

順位	選手名	所 属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
35	小林 勝美	武 蔵	77	78	77	75	307
36	原 雄雄	横 浜	75	81	77	74	307
37	市川 賢	東京 国 際	76	76	78	77	307
38	小川 透	関部サン	77	74	78	78	307
39	秋元 一男	アカデミアルズ	74	78	75	80	307
40	竹内 寿樹	ヴェルデ佐野	77	77	76	77	308
41	杉山 隼	総 武	72	77	76	83	308
42	全 浩延	塩 原	76	74	83	76	309
43	太田 再勇	大 相 模	77	76	80	76	309
44	井端 和生	大熱海国際	78	77	78	76	309
45	原田 光則	相 模 湖	80	74	77	78	309
46	岩崎 桂介	中央学院大	77	77	77	78	309
47	根本 貴光	玉 造	79	75	76	79	309
48	白井 敏夫	総 武	75	77	79	79	310
49	岡本 隼	中央 都 留	76	78	77	79	310
50	純貝 丈司	潮 来	77	74	81	78	310
51	丸山 豊	鳥 山 城	76	80	77	77	310
52	室野 歩	東 千 葉	74	82	76	78	310
53	村上 史晃	関東 アマ	81	75	79	76	311
54	染谷 健市	扶 桑	80	73	76	82	311
55	今野 宗雄	専月・鹿沼	76	76	77	82	311
56	岡田 光史	嵐 山	78	75	78	81	312
57	志村 幹夫	日 立	75	76	80	82	313
58	上村 努	東 武 波	78	77	74	84	313
59	冬瀬 克宣	甲 府 国 際	79	76	82	78	315
60	西本 聖	鳳 琳	78	75	84	78	315
61	中島 泰就	帝京平成大	72	81	80	84	317
62	平治 健	東 名 厚 木	77	77	76	87	317
63	宮坂 文一	武 蔵	73	82	85	79	319
64	横山 佳和	東京よりり	74	82	78	85	319
65	関口 幸雄	芳 賀	77	78	79	85	319
66	中川 雅雄	沼 津	77	79	82	82	320
67	渡辺 英治	霞ヶ浦出島	78	76	84	86	324
68	栗山 忠男	関東ジュニア	76	79	81	89	325

■特別表彰					
決勝競技					
（10回出場表彰）	河村 友正（龍ヶ崎）	／	義山 謙立（立川国際）		
（15回出場表彰）	志村 幹夫（日立）	／	杉田 努（GNGA王子）		
	能川 茂美（戸塚）	／	日暮 俊明（扶桑）		
	和田 博（東京五市）				
（20回出場表彰）	新村ヨシオ（千葉）				

平成12年度 関東倶楽部対抗決勝競技

- 開催日 平成12年6月19日(月)
- 開催コース 大根カントリークラブ Aクラス 東コース 6,393 ヤード パー72
Bクラス 西コース 7,065 ヤード パー72

「東京五日市」 驚異的なスコアで初優勝

文・宮元照夫 (KGA広報副委員長) 写真・片山晴美 (KGA広報委員)
山田和臣 (KGA広報委員) 舟橋一芳 (KGA広報委員)

あたりまえのことだが、大きな競技会で優勝するには、技量は勿論のことその日の運も大きく左右する。ましてや倶楽部対抗のようにチーム戦ともなると、6人の技量と運が平均しなければならぬから、その難しさは6倍となる。

さて、昭和9年に倶楽部対抗競技が設けられて以来、東京勢の優勝はこれまでなかった。それだけに今回初めての東京五日市カントリー倶楽部がそれも抜群の成績で初優勝したのだから、関係者たちの喜びも一入であった。

しかも二位新千葉との差を15ストロークもつけての快勝であった。

折しもこの日は海の向うではメモリアル・トーナメントとして100回目を記念する全米オープンの決勝の様子がTVで放映されていた。クラブハウス内に設置されているTVの前には早朝から釘付けになっている人も大ぜいいたが、優勝したタイガーウッ



驚異的なスコアで優勝した東京五日市カントリー倶楽部の選手団

ズの技量には誰しも唖然とするばかりで、異次元のゴルファーとしか見えなかった。

二位のヒメネスやエルスらに15ストロークも差をつけての新記録づくめの勝利。なにかこの15ストロークに因縁めいたものを感じた。

●兄弟二人で6アンダー

ゴルフは終わってみなければわからない競技である。海の向うのことはさて置くとして、何はともあれ東京五日市の勝利はお見事という以外に賛めようがない。

特に和田博、雅英兄弟が揃って69のベストスコアであったこと、これは倶楽部対抗決勝における新記録であろう。予選では青梅の嶋田憲人選手が65という快記録を残しているが、決勝競技で同一チーム、しかも兄弟での快挙は素晴らしいの一語につ



高らかに乾杯、東京五日市カントリー倶楽部の選手、応援団の皆さん

きる。

この日は関東のトップアマが勢揃いしており、それぞれが倶楽部の名誉をかけて18ホールに挑んでいたわけだが、プレッシャーも普段の個人競技と比しておそろしく高かったに相違ない。五日市チームはA・Bクラスともに堅調にまとめ、442ストロークで堂々と凱歌を挙げた。

和田兄弟は『阪田さん(袖ヶ浦)の68という記録を破りたくて……、この目標が今日の好スコアに結びついた』と口を揃えていた。この阪田選手(袖ヶ浦)の『68』とは、平成5年6月16日、ところも同じこの大根の西コースで行われた関東アマの2日目、35・33の68の記録で回った同選手の記録への挑戦でもあったわけである。

年々優勝スコアが460台から450台と縮まっているが、ここに来て一挙に442に縮まった。チームの平均ストロークは73.67、実に立派である。決勝46チームがこれから毎年この数字に挑戦してくるわけであるが、近年各選手の技量が急激に向上しているとはいえ、平均2オーバー以内で6人の選手が上ってくるということはきわめてむずかしいことだ。

たしかに将来異次元とも思えるような驚異的ス

コアを出す選手が出てこないとは言いい切れないが、6人がまとまるということは至難である。来年の決勝大会が楽しみでもある。

1ストロークか2ストロークで最後の優勝を争うこと、6人目のスコアに一喜一憂するというのがこれまでの倶楽部対抗の面白味でもあったが、今年に限っては断崖絶壁であり、優勝争いの興味は半減した。

東京五日市の優勢は前半ではやくもさやかれていた。Bクラスの和田兄弟に加えて沢田信弘選手もパープレイで前半を折返していた。またAクラスも吉田キャプテンを先頭に共に堅調という情報が伝えられ、場内各所に据付けられたTV速報板



大スコアボードの前で一喜一憂



熱気ムンムンのパーティ会場

にもトップ不動のまま推し進めた。二位以下を大きく離れたままだった。

●「新千葉」の追込みとどかず

結果は新千葉が滑り込みをはかる袖ヶ浦を猛追して2位に浮上した。倶楽部対抗決勝進出29回目という大きな勲章をひっさげて、3度目を狙った袖ヶ浦は惜しくも3位と涙を飲んだ。

2位の新千葉はAクラスの大山四郎選手の活躍が最後にものを言った。後半33の好スコアが2位浮上の原動力となった。

新千葉は平成の雄である。5年、6、8、10年と4回も優勝し新千葉時代を築きあげた。

倶楽部対抗で連続優勝することは大変なことである。他にも千葉カントリーのようにすでに優勝7回の大記録をもつ倶楽部もある。このほか我孫子の5回、相模原の4回、中山、相模の各3回とその勝者の記録とふりかえてみると、千葉県勢が抜きん出ていることがわかる。歴史のある古い倶楽部から新興の倶楽部へ、そして首都圏周辺のチームが優勢になっているように思える。今年も予選参加倶楽部313チーム、選手数なんと1,878名



野天応援席も出現



自軍のスコアをキャプテンに報告

と、昭和三十年代の大会規模からみると昔日の感がある。

今年の初参加は神奈川の湯河原、埼玉の埼玉国際、栃木のグレンブーカムナーの3倶楽部であった。初参加のプレッシャーも多少あったであろうが、成績は今一つであったが、それぞれが大健闘した。関東における唯一のアマのゴルフ祭典として各県の意識も高まっており、関東オープンがなくなった今、この倶楽部対抗はKGAの看板競技となった。

●高まる女子倶楽部対抗開催の声

連盟には今年から女子競技委員が誕生した。スタートから集計まで、彼女たちのキビキビした言動が参加選手の間では大きな話題となっていた。マナーの悪い選手が女子委員よりやわらかく注意される場面もあった。

また女子委員は口々に、関東倶楽部対抗の女性番を開催してほしいとKGA要人にアピールしていた。男子のこの盛況ぶりを目の当りに見ては、当然のことと言えよう。

12年ほど前に筆者も、千葉県下だけの女性の倶楽部対抗発足に若干ながら力を貸したことがある。聞くとところによると、すでに報知新聞社の主催で、40倶楽部ぐらいが参加して対抗戦を行なっているとか。

倶楽部対抗は今後のゴルフ振興策の鍵を握っていると言えよう。

連盟の競技委員会でも、非公式ながら検討を始

めていると聞いている。また大方の識者の間でも前向きに検討すべきだという声強い。連盟公式競技となると、開催方式、資金経費等幾つかの問題点をクリアしなければならず、簡単にGOのサインは出せない。また、どのゴルフ場も経営面で苦勞しており、加盟倶楽部の意向もたしかめる必要がある。今ではどの倶楽部も自粛ムード、すべてを自前で参加するという倶楽部さえあった。昔ほどではないにしても、予選から決勝まで出場となると経費の支出も大きくなる。各倶楽部の台所事情を考えれば、選手たちも何から何まで甘えているというわけにはいかないご時世でもある。このような環境の中で女子までも、消去的な倶楽部もあると聞いている。大きな壁は案外倶楽部側の意向かも知れない。

●アンケートに見る改善策

KGA広報委員会は、決勝当日にアンケートをとってみた。本稿締切り日までに回答を寄せたものは約半数しかなかったが、連盟がアレコレと運営に努力していることに理解を示して返答をくれた関係者には、心からお礼を申し述べておきたい。

アンケートの設問の要旨は、①大会の印象をどう受けとめたか②選手として出場するにあたり倶楽部内でどのような位置づけだと認識したか③現行の競技方式をどう思うか④一日の大会を終えどのような感想を持ったか。など数項目にわけて、出場チーム中一名に対してこの調査を行った。

その内容を集約すると、どの選手も倶楽部対抗



TVインタビューを受ける女子委員の皆さん

の選手となって出場することに誇りを持っているという答えが多かった。次いで伝統の重みを強く感じた、コースの素晴らしさに感動した、現行の6人制ではプレッシャーが強過ぎる、6人中5人の成績か、或いは出場選手の枠を広げて8人とか7人とかの意見も出ていた。他にはABクラスの年齢制限の見直し、選手枠の拡大、県予選を拡大して準決勝を行い決勝チームをしばる、などいずれにせよ積極的に意見を出していただいたことは大変ありがたいことであった。これらの意見を競技委員会をはじめ関係委員会に具申していきたいと思っている。

連盟が年間に運営する競技会の回数は、現在予選決勝を含めて68競技もある。コースの選定、エントリーから実施、すべて各委員会の連携のもとに運営されているが、各担当委員のご苦勞も責任が伴うことだけに大変なことだと思う。なかでも一番大変なのがこの倶楽部対抗である。歴史と伝統は守らなければならないが、同時にゴルフ界の現状、少子高齢化問題——ゴルフ人口の減少など、困難な問題を抱えながら、この競技倶楽部対抗をはじめ、全競技のあり方を検討する時期にかかっていることを強調してこの稿を閉じたい。



ホールアウトした選手にスコアを確認



ギャラリーテント内には、心づくしの料理が並ぶ

平成12年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表

地域別 順位	新 潟 糸魚川 11年 9月21日(火)	長 野 長野国際 5月23日(火)	山 梨 河口湖 5月22日(月)	群 馬 桐 生 5月19日(金)	栃木第1 佐 野 5月22日(月)	栃木第2 矢 板 5月19日(金)	茨城第1 茨城バシフィック 5月17日(水)							
優勝	フォレスト	464	長 野	461	中央都留	484	伊香保国際	456	鹿 沼	461	矢 板	458	富士・笠間	467
2位	長 岡	468	諏 訪 湖	463	富 士 川	486	桐 生	466	南 摩 城	465	紫 塚	460	セバ・バレストロ	475
3位	十 日 町	473	松 本	473	甲府国際	487	赤城国際	467	グレンビークマナー	477	鬼 怒 川	474	扶 桑	480
4位	新潟sp・三条	480	穂 高	475	都 留	489	下 仁 田	470	都 賀	477	パークレイ	480	茨城バシフィック	480
5位	新潟sp・三条	486	塩 田	487	清 春	490	甘 楽	473	塩 原	480	那須チサン	482	桜	492
6位	レイクビュー	486	千曲高原	494	甲 斐 駒	491	上 武	476	佐 野	487	東 ノ 宮	483	江 戸 崎	495
7位	湯 田 上	487	川 中 嶋	495	グリーンバレイ	495	妙義スプリングス	477	芳 賀	487	車月・鹿沼	484	栗橋国際	496
8位	松 ケ 峯	488	グランステージ	496	河 口 湖	502	プリンスランド	478	唐 沢	489	ヒルクレスト	491	新 水 戸	496
9位	小 千 谷	488	長野国際	497	メイプルポイント	503	沼田スプリングス	479	日 光	492	車月・佐野	491	麻 生	499
10位	妙義サンシャイン	491	サ ニ ー	503	昇 仙 峡	504	鳳 凰	480	下 野	494	サンレイク	491	セゴビア※	499
11位	舞子後楽園	491	あづみ野	505	秋 山	507	グリーンパーク	482	杉 ノ 郷	494	足 利	492	スプリングフィールズ	500
12位	柏 崎	493	南 長 野	507	春 日 居	523	太田双葉	483	思い川東急	497	宇 都 宮	493	浅 見	501
13位	日 本 海	493	諏訪レイクヒル	507			御 荷 鈴	483	皆 川 城	498	鹿 沼 7 2	494	宍 戸	504
14位	新発田城	496	豊 科	507			ツインレイクス	484	サンヒルズ	499	あさひヶ丘	496	白 帆	506
15位	新 津	497	松本浅間	508			藤 岡	484	ユーアイ	502	チサン黒羽	500	霞 台	509
16位	下 田 城	497	信州駒ヶ根	508			草 津	485	関東国際	502	鷹 山	501	大 洗	509
17位	糸 魚 川	497	望 月	512			関越ハイランド	485	栃 木	504	広 陵	502	ダイヤグリーン	510
18位	妙 高	501	信 濃 ※	513			美 野 原	486	ロイヤル	508	千 成	502	ノースジョア北浦	511
19位	紫 雲	503	佐 久 平	513			伊 香 保	488	クラヴェ・ヒル	510	那須小川	504	那 珂	511
20位	イーストヒル	503	三井の森藝科	514			ロイヤルオーク	490	東 松 苑	511	大 平 台	505	ガ ー デ ン	513
21位	笹神五頭	505	菅平高原	516			ベル エ ア	498	アローエース	526	黒 磯	506	桂 ケ 丘	522
22位	アイビス	509	望月東急	519			高崎 K G	502	新宇都宮	526	東宇都宮	508	サニーフィールド	531
23位	中 条	511	ヴィアラ鬱科	529			群 馬	506	鶴 岡	528	風 月	510		
24位	湯 沢	516							藤和那須	541	ゴルデン・レイクス	525		
25位	津 川	521							栃 木	550				
26位	ヨネックス※	522												
27位	新潟sp・出雲崎	522												
28位	石地ソーサイド※	525												
29位	ルーセント	533												
Aクラス メダリスト	小 松 九二五 (湯田上) 長谷川 正 二 (フォレスト)	73	黒 岩 謙 (長野) 宮 澤 亮 三 (長野)	75	梶 原 久 義 (甲府国際) 川 口 仁 蔵 (富士川)	78	曾 根 宏 之 (桐生) 藤 巻 勲 夫 (下仁田)	72	永 井 明 (鹿沼)	73	佐 藤 次 男 (紫塚)	72	日下部 吉 男 (江戸崎) 椎 名 徳 雄 (茨城バシフィック)	75
Bクラス メダリスト	白 源 正 (新潟sp・三条)	71	須 山 朝 雄 (松本) 広 田 文 雄 (長野)	72	島 村 龍 男 (清春)	74	有 賀 史 剛 (妙義スプリングス) 大和田 康 夫 (草津) 武 井 茂 幸 (赤城国際)	72	亀 井 隆 (唐沢) 渡 辺 顕 展 (サンヒルズ)	71	風 見 基 造 (東ノ宮) 日 向 和 弘 (鬼怒川)	70	染 谷 健 一 (扶桑)	71

(注)※は初参加倶楽部

18ホール・ストロークプレー (参加313倶楽部・1,878名)

茨城第2 金砂郷 5月15日(月)			埼 玉 東松山 5月22日(月)		千葉第1 房総・房総 5月15日(月)		千葉第2 千葉・梅郷 5月16日(火)		東 京 GMG八王子 5月22日(月)		神 奈 川 湯河原 5月16日(火)		静 岡 富士御殿場 5月19日(金)	
水 戸	469	武 蔵	471	袖 ケ 浦	458	千 葉 国 際	475	東京五都市	448	相 模 原	450	富士チサン	446	
ザ・レイクス	475	岡部チサン	478	東 千 葉	468	姉 ケ 崎	476	青 梅	451	東 名 厚 木	456	東 名	468	
セントラル	475	埼玉国際	484	総 武	478	千 葉	476	立 川 国 際	451	相 模	465	富 士 宮	468	
龍 ケ 崎	476	浦 和	489	新 千 葉	479	真 名	479	府 中	463	湯 河 原	469	沼 津	474	
全 砂 郷	476	日 高	489	木 更 津	486	千葉廣済堂	481	東京国際	467	伊 勢 原	472	大熱海国際	480	
筑波学園	482	川 越	489	習 志 野	487	千葉スプリングス	481	GMG八王子	469	戸 塚	473	リバー富士※	482	
水戸グリーン	492	嵐 山	490	ザ・鹿野山	487	成田スプリングス	482	東京よみうり	470	泰 野	474	函 南	497	
ニ ッ ソ ー	494	東 松 山	490	房 総	489	東京湾スプリングス	483	武 蔵 野	471	相模野※	474	富士小山	498	
茨 城	494	越 生	491	鷹 之 台	495	我 孫 子	484	小 金 井	474	相 模 湖	475	富士御殿場	500	
土 浦	495	廣済堂埼玉	492	中 山	495	八 幡	486	八 王 子	485	レインボー	476	富士箱根	500	
日 立	497	飯 能	496	船 橋	496	千葉新日本	486	相 武	487	大 相 模	478	富 士	502	
常 陽	498	寄 居	497	上 総富士	497	小 御 門	487	桜 ケ 丘	496	小田原湯本	478	御 殿 場	502	
霞ヶ浦出島	501	狹 山	499	藤 ケ 谷	498	長 南	488	多 摩	500	小田原・松田	480	菊 川	504	
取手国際	501	霞 ケ 関	501	加 茂	503	一 の 宮	489	赤 羽	509	横 浜	481	太 陽	506	
茨城ロイヤル	502	東 京	503	南 総	504	紫	500	津 久 井 湖	484	豊岡国際	512	三島スプリングス	514	
フレンドシップ	507	秩 父 国 際	503	か ず さ	508	レインボーヒルズ	502	葉 山 国 際	485	大 厚 木	487	天城につかつ	514	
アジア下館	508	鴻 巣	504	フォーシーズン	511	本 千 葉	503	平塚富士見	487	愛 鷹	518	磯 子	490	
潮 来	511	ユニオンエース	505	鳳 琳	513	富 里	505	磯 子	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
高 萩	514	熊 谷	506	カレドニアン	513	南 千 葉	505	箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
ザ・ウィングス	518	鳩 山	506	白 鳳	515	佐原スプリングス	508	箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
筑 波	527	高 根	508	柏	515	エンゼル	509	箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
久慈川※	529	埼 玉	510	鶴 舞	516	京 葉	513	箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
		ノーザン緑ヶ原	518	イトナジカ17ポ	520	長 太 郎	515	箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
		美 入	523	ト ー ヨ ー	522	清 川 ※	496	箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
		高 坂	527	源 氏 山	534	中 津 川	503	箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
		飯能グリーン	失格					箱 根	490	伊 東 C C	529	箱 根	490	
中 村 清 (水戸)		小 川 透 (岡部チサン)		西 本 政 雄 (木更津) 林 安 雄 (袖ヶ浦)		石 井 幹 (千葉スプリングス) 大 野 勝 夫 (八幡)		加 藤 昌 弘 (青梅) 坂 本 正 美 (相武) 鈴 木 正 治 (府中)		河 本 徳三朗 (相模原) 中 野 弘 治 (相模)		水 野 裕 司 (リバー富士)		
70		71		74		73		73		72		72		
小松崎 尊 久 (常陽) 徳 永 雅 洋 (ザ・レイクス)		浅 野 博 司 (浦和)		布 施 敬 三 (袖ヶ浦)		川 瀬 信 一 (小御門)		嶋 田 憲 人 (青梅)		浅 井 和 彦 (横浜)		渡 辺 元 嗣 (富士チサン)		
73		75		73		72		65		70		70		

平成12年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

6月19日(月) 於: 大根カントリークラブ

1位 東京五日市カントリー倶楽部 得点442

氏名	合計	アウト	イン	順位
滝林正元	77	40	37	442
小吉元義	75	37	38	
和田雅英	69	33	36	
和田信弘	69	36	33	1位
沢田信弘	73	37	36	

(チーム平均ストローク=73.67)

2位 新千葉カントリー倶楽部 得点457

氏名	合計	アウト	イン	順位
加藤明夫	77	39	38	457
加川島津一	77	37	40	
山西四郎	70	33	37	
伊藤和久	77	38	39	2位
白井正樹	77	41	36	
板井延秋	79	40	39	

(チーム平均ストローク=76.17)

3位 袖ヶ浦カントリークラブ 得点461

氏名	合計	アウト	イン	順位
鈴木軍司	76	39	37	461
加川島津一	79	41	38	
安藤善七	71	34	37	
柳澤信吾	77	38	39	3位
阪田敬三	81	41	40	
吉田三男	77	38	39	

(チーム平均ストローク=76.83)

4位 千葉国際カントリークラブ 得点463

氏名	合計	アウト	イン	順位
渋谷重治	74	37	37	463
川島栄和	73	35	38	
清宮和男	83	43	40	
有馬昌宏	77	39	38	4位
湯島立己	78	38	40	
石谷美実	78	41	37	

(チーム平均ストローク=77.17)

5位 武蔵カントリークラブ 得点464

氏名	合計	アウト	イン	順位
須崎昭平	80	39	41	464
望月功一	79	38	41	
山崎現朗	71	32	39	
浅川辰彦	78	39	39	5位
小川勝孝	78	39	39	
小川伸也	78	41	37	

(チーム平均ストローク=77.33)

6位 相模原ゴルフクラブ 得点465

氏名	合計	アウト	イン	順位
河本徳三郎	75	38	37	465
白井喜平	73	37	36	
今井喜平	81	43	38	
伊藤仁	80	36	44	6位
中藤正人	75	39	36	
堀越栄治郎	81	39	42	

(チーム平均ストローク=77.50)

7位 東千葉カントリー倶楽部 得点465

氏名	合計	アウト	イン	順位
全崎二	72	34	38	465
山崎光	81	39	42	
山崎光	79	39	40	
菅野歩	76	38	38	7位
菅野政弘	79	41	38	
菅野政弘	78	39	39	

(チーム平均ストローク=77.50)

8位 富士カントリー倶楽部 得点465

氏名	合計	アウト	イン	順位
友田宜之	76	37	39	465
山崎順彦	73	37	36	
小次静彦	77	37	40	
青木勝彦	82	41	41	8位
藤崎和典	78	37	41	
山西宏	79	38	41	

(チーム平均ストローク=77.50)

9位 扶桑カントリー倶楽部 得点469

氏名	合計	アウト	イン	順位
矢嶋辰一	86	38	48	469
矢嶋辰一	82	44	38	
矢嶋辰一	76	37	39	
染谷健市	73	37	36	9位
柳橋一之	77	38	39	
日暮俊明	75	38	37	

(チーム平均ストローク=78.17)

10位 東名カントリークラブ 得点471

氏名	合計	アウト	イン	順位
加藤男	76	36	40	471
加藤男	74	36	38	
中沢和真	83	41	42	
室伏健二	75	38	37	10位
須藤昭二	85	42	43	
高田安	78	38	40	

(チーム平均ストローク=78.50)

11位 セベ・パレステロゴルフクラブ 得点471

氏名	合計	アウト	イン	順位
植木康夫	80	42	38	471
植木康夫	82	42	40	
澤田富之	71	36	35	
松下定弘	75	35	40	11位
松上宗嗣	81	42	39	
松上宗嗣	82	39	43	

(チーム平均ストローク=78.50)

12位 セントラルゴルフクラブ 得点474

氏名	合計	アウト	イン	順位
松崎秀孝	80	40	40	474
水谷康夫	80	38	42	
中藤隆彦	80	40	40	
田口三郎	81	41	40	12位
村田三郎	76	38	38	
高安信行	77	37	40	

(チーム平均ストローク=79.00)

13位 千葉カントリークラブ 得点475

氏名	合計	アウト	イン	順位
大崎清春	75	35	40	475
大崎清春	87	42	45	
伊東祐次	78	39	39	
新村ヨシオ	75	39	36	13位
福永俊男	76	37	39	
渡辺圭介	84	41	43	

(チーム平均ストローク=79.17)

14位 鹿沼カントリー倶楽部 得点475

氏名	合計	アウト	イン	順位
増田守哉	77	41	36	475
増田守哉	78	41	37	
永井春明	77	38	39	
金山将教	80	44	36	14位
松井敦	81	41	40	
石島英明	82	44	38	

(チーム平均ストローク=79.17)

15位 岡部チサンカントリークラブ 得点477

氏名	合計	アウト	イン	順位
六本木清	78	38	40	477
山崎三幸	78	41	37	
山崎三幸	78	39	39	
関口正弘	79	41	38	15位
関口正弘	80	41	39	
関口正弘	84	44	40	

(チーム平均ストローク=79.50)

16位 水戸・ゴルフ・クラブ 得点477

氏名	合計	アウト	イン	順位
滝山清	73	36	37	477
山崎清	79	37	42	
根本太清	76	38	38	
平澤良雄	83	42	41	16位
小野進	83	41	42	
入野康昭	83	43	40	

(チーム平均ストローク=79.50)

17位 伊香保国際カントリークラブ 得点480

氏名	合計	アウト	イン	順位
橋口義一	83	41	42	480
金子宗平	80	39	41	
金子宗平	76	38	38	
板垣道也	73	39	34	17位
桑原裕	86	42	44	
菅原寿	82	41	41	

(チーム平均ストローク=80.00)

18位 青梅ゴルフ倶楽部 得点480

氏名	合計	アウト	イン	順位
小三敏男	82	40	42	480
山崎敏男	81	41	40	
加藤昌弘	80	43	37	
内山健司	75	38	37	18位
戸高明人	79	40	39	
嶋田重人	83	41	42	

(チーム平均ストローク=80.00)

19位 総武カントリークラブ 得点480

氏名	合計	アウト	イン	順位
藤澤公一郎	85	43	42	480
山田昌宏	82	47	38	
福澤英治	83	40	43	
中川利貞	82	42	40	19位
杉山健	77	37	40	
白井敏夫	78	39	39	

(チーム平均ストローク=80.00)

20位 南摩城カントリークラブ 得点480

氏名	合計	アウト	イン	順位
斉藤修	76	39	37	480
山田昌宏	79	39	40	
中原英信	79	42	37	
関根俊夫	83	40	43	20位
関根俊夫	82	42	40	
遠藤文雄	81	41	40	

(チーム平均ストローク=80.00)

21位 大根カントリークラブ 得点481

氏名	合計	アウト	イン	順位
村定幸	81	38	43	481
小原秀浩	79	40	39	
成田秀浩	84	42	42	
杉山正	79	38	41	21位
原田武秀	78	38	40	
生田圭一	82	43	39	

(チーム平均ストローク=80.17)

22位 長野カントリークラブ 得点481

氏名	合計	アウト	イン	順位
南沢芳	85	41	44	481
黒澤芳	77	38	39	
宮澤亮二	78	39	39	
中沢正博	82	37	45	22位
松田文雄	82	42	40	
松田文雄	77	38	39	

(チーム平均ストローク=80.17)

23位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 得点481

氏名	合計	アウト	イン	順位
庄司文雄	79	38	41	481
山田英夫	79	39	40	
神山辰之	77	40	37	
山崎義洋	81	42	39	23位
杉山伸一郎	82	41	41	
佐久間義雄	83	40	43	

(チーム平均ストローク=80.17)

24位 富士チサンカントリークラブ 得点483

氏名	合計	アウト	イン	順位
深村貞夫	79	41	38	483
深村貞夫	83	42	41	
小井敏一郎	84	42	42	
中井教雄	84	43	41	24位
佐野英	78	39	39	
渡辺元嗣	75	36	39	

(チーム平均ストローク=80.50)

25位 東名厚木カントリー倶楽部 得点484

氏名	合計	アウト	イン	順位
田辺進	81	40	41	484
太田正孝	83	43	40	
大野忠夫	77	39	38	
榎本要	80	39	41	25位
田中七実	83	42	41	
露木実	80	40	40	

(チーム平均ストローク=80.67)

26位 相模カントリー倶楽部 得点485

氏名	合計	アウト	イン	順位
石川正志	81	42	39	485
吉川茂	84	41	43	
中野弘治	76	38	38	
崎村孝	82	39	43	26位
岡本二郎	84	42	42	
小林健治	78	38	40	

(チーム平均ストローク=80.83)

27位 諏訪湖カントリークラブ 得点486

氏名	合計	アウト	イン	順位
河野康行	81	40	41	486
西田信	82	42	40	
渡辺正樹	84	39	45	
藤森勇一	79	36	43	27位
茅野弘喜	77	40	37	
奥本公太	83	39	44	

(チーム平均ストローク=81.00)

28位 浦和ゴルフ倶楽部 得点486

	氏名	合計	アウト	イン	順位
Aクラス	中川 仁八	75	37	38	486
	村田 恵住	77	40	37	
	岡田 男	75	36	39	
Bクラス	浅野 博司	83	45	38	28位
	村上 卓一	85	41	44	
	小村 基	91	44	47	

笹神五頭ゴルフクラブ（新潟県）の伊藤文吉理事長（KGA理事）より心温まるニュースがとどきました。

平成12年6月14日
関東ゴルフ連盟 御中
笹神五頭ゴルフクラブ
理事長 伊藤文吉

拝啓 梅雨の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当倶楽部役員、菅井昭三（72歳、昭和3年6月9日生）氏が過日、会社側、及び理事会の承認を受け当倶楽部に起きまして午前4時にスタートし（OKボールなし）15時間に亘る『エイジホール』達成の快挙を成し遂げました。

菅井昭三氏につきましては、当笹神五頭ゴルフ倶楽部発足当時の代表取締役社長にされ現在は倶楽部役員の一として常に純粋な心でゴルフ界発展のため鋭意努力されている方です。

六年前に全盲となられてからは毎年、当ゴルフ倶楽部に於いて「視覚障害者ゴルフオープン新潟大会」開催のため大変尽力されております。

昨年行われました当ゴルフ倶楽部理事会において、関東ゴルフ連盟発行「KGA秋季又は冬季号」への掲載を依頼すべく推薦致す事になりました。多くのハンデキャップを持ちながら五体満足な人間以上のことを達成した事の意義が重要だと思います。

敬具



アドレスをし、ボールをティーアップする位置を決める。介添う人がボールを置く。ヘッドで確認してスウィング。



福田理事長より「古雑誌を整理していたらこんなものが出てきた。」と1957年（昭和32年）のカナダカップを紹介した「ゴルフダイジェスト・グラビア頁」がとどきました。

今のゴルフブームのきっかけとなったカナダカップのスナップです。選手と、ギャラリーの、なんともなつかしい服装にご注目下さい。



分科委員会

平成12年度 第2回コース・レート委員会議事録

日 時 平成12年6月13日 (火)
正午
場 所 KGA会議室
出席者 大原委員長
岡田副委員長
生田、阪田、佐久間、白井、
内藤、松岡各委員
渡邊顧問

—討議及び決議事項—

1. 査定数値決定について

富士グリーンヒルゴルフコース以下
5倶楽部のコース・レーティングを
以下のように決定した。

富士グリーンヒルゴルフコース

「バック・ティ」「Aグリーン」 70. 2
「レギュラー・ティ」「Aグリーン」 69. 2
「フロント・ティ」「Aグリーン」 68. 1
「バック・ティ」「Bグリーン」 69. 2
「レギュラー・ティ」「Bグリーン」 68. 1
「フロント・ティ」「Bグリーン」 67. 0

ワイルドダックカントリークラブ

「バック・ティ」「ペントグリーン」 72. 8
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」 70. 3
「フロント・ティ」「ペントグリーン」 68. 4

アバイディング クラブ

「バック・ティ」「ペントグリーン」 72. 0
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」 70. 0
「フロント・ティ」「ペントグリーン」 68. 3
中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部
「バック・ティ」「ペントグリーン」 71. 7
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」 69. 5
「フロント・ティ」「ペントグリーン」 67. 7

夢科高原カントリークラブ

すずらん・りんどう
「バック・ティ」「ペントグリーン」 72. 3
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」 70. 3
「フロント・ティ」「ペントグリーン」 68. 9
りんどう・しゃくなげ
「バック・ティ」「ペントグリーン」 72. 0
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」 70. 1
「フロント・ティ」「ペントグリーン」 68. 5

しゃくなげ・すずらん

「バック・ティ」「ペントグリーン」 72. 2
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」 70. 4
「フロント・ティ」「ペントグリーン」 68. 9

2. 査定スケジュールについて

ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴ
ルフ場以下8倶楽部について、査定
日を以下のように決定した。

●ノーザンカントリークラブ

錦ヶ原ゴルフ場 7月10日 (月)

●草津高原ゴルフ場

7月13日 (木)

●千葉よみうりカントリークラブ

8月1日 (火)

●武蔵カントリークラブ

8月24日 (木)

●裾野カンツリー倶楽部

8月29日 (火)

●オリムピックカントリークラブ

9月25日 (月)

●鎌ヶ谷カントリークラブ

10月2日 (月)

●市原ゴルフクラブ

10月12日 (木)

3. 副委員長選任について

大原委員長より、前川副委員長病氣
療養中のため、松岡委員が副委員長
に指名され、全委員これを承認した。

平成12年度 第1回月例競技委員会議事録

日 時 平成12年5月1日 (月)
12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長

山崎副委員長

岡野、加藤、小池、小久保、

桜井、嶋田、額賀、平山、松

井、三木、湯原各委員

学生連盟委員

分科委員会

—討議及び決議事項—

1. 4月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総
括がなされた。

「今年度女子決勝競技開催コースと
いうことで、コースの状態、倶楽部
側の受け入れ態勢も万全であった。
女子出場選手49名中、70台のスコア
はわずか5名で、全体的な距離、特
にパー5が長く感じられたという選
手が多かった。男子優勝は石井選手
71、女子優勝は大木選手の75、また
2名共に平成11年度の年間最高ボー
ント獲得者であり、ミーティングに
おいて表彰をした。」

エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成12年4月18日 (火)
コ ー ス 大箱根カントリークラブ
エントリー 130名

(男子81名、女子49名)

欠 席 者 数 事前連絡5名

(男子3名、女子2名)

当日連絡0名

無断欠席0名

出 場 者 数 125名

(男子78名、女子47名)

科 罰 者 0名

ミーティング欠席 0名

失 格 者 2名 (男子)

棄 権 者 0名

次回プレーオフ なし

2. 月例出場資格者の件

4月月例出場資格者報告の件

男子629名 (一) 女子239名 (一)

6月月例出場資格者確認の件

Hdcp処理未着のため、次回委員会に
て報告

3. 6月のテーマ

- ボールマークの修復の徹底
- プレーの迅速化

4. 平成13年度開催日程について

別紙資料をもとに開催コース候補が
挙げられた。各競技との日程も考慮
しながら、今後の委員会で順次決定
していくこととした。

5. その他

- 大箱根カントリークラブコースセ
ッティングについて
一部、ウォーターハザードである
べきところがアウトオブバウンズ
となっていたため、関東女子決勝
時にはウォーターハザードに設定
することとした。

平成12年度 第2回月例競技委員会議事録

日 時 平成12年6月26日 (月)
12時40分

場 所 KGA会議室

出席者 山崎副委員長

岡田、岡野、小池、小坂、阪
田、桜井、額賀、星野、松井、
湯原各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 6月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総
括がなされた。

「雨の確率が70%という予報であつた
が、好天に恵まれた1日であつた。
参加申し込みは男女あわせて205名
と盛況で、そのため通常よりスター

ト時間を早め、7時30分からとした。
男女共に好スコアで、特に優勝の徳
永選手 (69)、岡橋選手 (72) の成績
は評価できる。早朝より夕刻までご
協力いただいた、倶楽部従業員の
方々に謝意を表したい。

エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成12年6月12日 (月)
コ ー ス 嵐山カントリークラブ
エントリー 205名

(男子146名、女子59名)

欠 席 者 数 事前連絡13名

(男子10名、女子3名)

当日連絡2名 (女子)

無断欠席0名

出 場 者 数 190名

(男子135名、女子55名)

科 罰 者 0名

ミーティング欠席 0名

失 格 者 1名 (男子)

棄 権 者 0名

次回プレーオフ なし

2. 月例出場資格者報告、確認の件

現在、事務局内にてシステムを再構
築中のため次回委員会にて報告

3. 6月のテーマ

- ボールマークの修復の徹底
- 使用しないティ・グラウンドの歩
行を禁止する

4. その他

- 委員分担の件
競技当日の委員役割分担が、一部
委員に負担がかかり過ぎているた
め、改善策を検討することとした。

月例競技成績表

〔平成12年度4月月例〕 4月18日(火) 大箱根カントリークラブ

男子	順位	スコア	氏 名	クラブ名
	1	71	石井 保行	清 川
	2	72	中野 正義	霞ヶ浦出島
	3	74	小和田政男	皇月・佐野
	3	74	宿谷 郁男	東 ノ 宮
	5	75	嶋田 憲人	青 梅
	5	75	井端 和生	大熱海国際

コースレート74.1

女子	順位	スコア	氏 名	クラブ名
	1	75	大木 美佳	東王スプリングス
	2	78	関根奈穂美	セントラル
	2	78	菅原亜矢子	京 京
	2	78	佐々木祥子	妙 高

コースレート71.3

※3月度のプレーオフは、岡橋選手不参加のため、原慈子選手の優勝に決定しました。

〔平成12年度6月月例〕 6月12日(月) 嵐山カントリークラブ

男子	順位	スコア	氏 名	クラブ名
	1	69	徳永 雅洋	ザ・レイクス
	2	70	岩井 正一	習 志 野
	3	72	今野 宗雄	皇月・鹿沼
	3	72	神戸 誠	太田 双葉
	3	72	上島 英信	ニッソー
	3	72	上重 修	総 武
	3	72	額賀 義朗	船 橋
	3	72	平山 尚記	立川 国際

コースレート72.5

女子	順位	スコア	氏 名	クラブ名
	1	72	岡橋 早里	オーク・ヒルズ
	2	75	南雲 真理	岡部チサン
	3	76	市川 慶子	江 戸 崎

コースレート70.5

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。

倶楽部名

(新) グラーヴェ・ヒル・クラシックゴルフクラブ
(旧) 宇都宮国際カントリークラブ

理事長

●日立ゴルフクラブ
(新) 牛山 元雄 (旧) 清水 貞一
●霞ヶ関カンツリー倶楽部
(新) 林 雄太郎 (旧) 高井 研次
●長南カントリークラブ
(新) 玉置 孝

倶楽部代表者

●サイプレスカントリークラブ
(旧) 福田 彰
●日立ゴルフクラブ
(新) 牛山 元雄 (旧) 清水 貞一
●府中カントリークラブ
(新) 松永 雨夫 (旧) 中小路昭二
●相模カンツリー倶楽部
(新) 諫山 滋 (旧) 松本 富夫

支配人

●南長野ゴルフ倶楽部
(新) 西村 直吉 (旧) 宮坂 公久
●グラーヴェ・ヒル・クラシックゴルフクラブ
(新) 吉田麗雄(総支配人)
(旧) 佐藤 武(副支配人)
●唐沢ゴルフ倶楽部
(新) 神埼 英興 (旧) 佐藤 長良
●矢板カントリークラブ
諸岡祐介(総支配人)

●エンゼルカントリークラブ

(新) 高橋 和久 (旧) 塚本 浩

所在地

●胎内高原ゴルフ倶楽部
〒959-2822
●富士川カントリークラブ
〒409-3301
●鬼怒川カントリークラブ
〒321-2523
●那須小川ゴルフクラブ
〒324-0502
●ユニオンエースゴルフクラブ
〒369-1503
●南茂原カントリークラブ
〒297-0135
●富士箱根カントリークラブ
〒410-2132
●パークレイカントリークラブ
FAX 03-3563-1026

会社名

●グラーヴェ・ヒル・クラシックゴルフクラブ
(新) グラーヴェ・ヒル
(旧) 宇都宮国際カントリークラブ

東京事務所

●芳賀カントリークラブ
FAX 03-3563-1026
●グラーヴェ・ヒル・クラシックゴルフクラブ
(新) 〒150-0022
渋谷区恵比寿南1-11-9 エビス南ビル3階

TEL 03-5721-7811 FAX 03-5721-3196

●太陽カントリークラブ

(新) 〒104-0028
中央区八重洲2-9-8 近和ビル2階
TEL 03-3275-3868 FAX 03-3275-3863

HDCP

●菅平高原カントリー倶楽部
●→G-sys
●諏訪湖カントリークラブ
●→G-sys
●夢科高原カントリークラブ
●→G-sys
●ゴールドン・レイクス・カントリークラブ
●→G-sys
●コスモクラシッククラブ
○→G-sys
●富士宮ゴルフクラブ
○→G-sys

体協会員

●山梨県ゴルフ連盟
TEL 0552-52-1821
●静岡県ゴルフ連盟
事務局長
(新) 杉田 至弘 (旧) 伊澤 純一
〒416-0904
静岡市下島928-1
TEL 054-287-0303

グランドスラムカントリークラブは4月27日に退会しました。

平成12年8月1日発行 KGA ニュース No.71
発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
発行人/福田 彰 編集/広報委員会